

# 「少数者と教育」研究会

## ■研究会について

「少数者と教育」研究会は、文字通り、少数者＝マイノリティの教育における問題について検討するために昨年度立ち上げた研究会です。

現在いるメンバーは、「障害」というマイノリティ性、他者との差異に着目し研究を進めようとしている人たちです。

従来、「障害者と教育」の分野では「支援の在り方」や「制度の在り方」に注目した研究が多くなされてきました。その研究自体の意義は認めつつも、本研究会ではそのアプローチと異なる方針で研究を行っていきます。それは、「障害学生支援」の制度や場が自明視してきたこと、例えば「高等教育では障害者/健常者とを分けずに、共に学んでいくこと」「知的障害者が高等教育に進学することが困難」など、「社会的少数者が高等教育機関で学ぶ」というときの前提について問い返していきたいと思っています。

ですが、私たちが「少数者」と名付けたのは、「障害」ととらわれない様々な少数者をその関心の対象に置いているがゆえです。同様の関心を持つ皆さん、とくに「障害」という問題以外に関心を持っている皆さんの参画を私たちは求めます。

## ■研究会の趣旨

昨年度は情報保障をテーマに各々が研究を進め、研究会にて意見を交換してきました。そして今年度は、「高等教育における障害学生支援」について勉強しつつ、その先の「雇用」という視点から「少数者への教育や支援」について検討していこうと思っています。

## ■今年度の研究会の内容

### \*シンポジウム(予定)

…外部講師を招聘したシンポジウムを行い、少数者の教育における課題や問題点を議論します。

### \*定例会

…課題文献を読み込み、それぞれの研究能力の向上を目指しています。

### \*草稿検討会

…各人が提出する論文について、意見を出し合い、学会誌投稿へ向けて切磋琢磨しています。

## ■昨年度の実績

2023年12月2日(土)10時～12時

講師:石川憲彦先生(児童精神科医)

「就学闘争を振り返ってー医療現場で感じたこと」  
石川先生ご自身の就学運動における経験をお話しいただきました。

## ■構成メンバーと自己紹介

現在のメンバーは、以下6人です。

◎種村光太郎(公共4回生)

山口和紀(公共4回生)

竹村文子(公共4回生)

山本由紀子(公共4回生)

村田淳(公共3回生)

大橋一輝(共生2回生)

入会希望の方は、ぜひ代表(種村)の下記アドレスまでご連絡ください。